

# 弁政連京都支部ニュース

## 弁政連

## 第6号

### 2019年4月24日発行

日本弁護士政治連盟京都支部

### ごあいさつ

日本弁護士政治連盟京都支部 支部長 白 浜 徹 朗

日本弁護士政治連盟京都支部は、2004年の設立ですから、今年で15年目を迎えることとなりました。

私は、設立当初から理事として関わって参りましたが、京都支部の活動は、京都府選出の国会議員の皆様や府会議員、京都市会議員の皆様との意見交換会を継続的に開催していることや統一地方選挙において推薦状をお渡ししていることなど、他府県の支部の活動と比較しても、活発なものとなっております。

この弁護士政治連盟ですが、他の団体の政治連盟と決定的に違うところがあります。それは、政治的な中立性を求められている政治団体であるということです。弁護士会が強制加入団体であることから、弁護士の政治連盟にも中立性が求められるということになるためです。そのような特殊な団体が政治や行政との接点を担っているにも関わらず、我々弁護士は、法律の改正等につき議員の皆様や行政、地方自治体などに意見する機会に恵まれることも多く、その分野も極めて幅広いものになっています。これは、弁護士が法律の

専門家であるということだけでなく、実際に法が適用される現場で問題を把握している立場にあるからでもあると思います。そういう意味で、弁護士政治連盟が果たすべき弁護士会と政界、行政との橋渡しという役割は今後ますます重要なものとなるものと思っております。

このため、我々京都支部では、活動をさらに活発なものとするべく工夫を重ねております。会員増にも取り組みましたし、昨年度からは、議員の皆様との意見交換会を各政党別にさせていただきました。お陰様で忌憚のないより率直な意見の交換の場となり、弁護士会としても学ぶところが多かったという実感を持ちました。ご参加いただいた議員の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、今年は、選挙の年ですから、京都支部としては、昨年以上の活動が必要となるものと思っておりますが、弁護士やその依頼者の皆様方のお役に立てるようがんばろうと思っておりますので、今年1年よろしくご指導ご鞭撻をいただきたくお願い申し上げます。

## 京都府 西脇隆俊知事へのインタビュー

2019年（平成31年）2月21日、浜垣副支部長臨席の下、白浜支部長が京都府西脇知事にインタビューしました。



### 白浜支部長：

我々弁政連は、弁護士・弁護士会と政治・行政との橋渡しの役割を担っておりまして、今回は、昨年就任された西脇知事の府政への取組につき、弁護士に関連する部門を中心として、会員にも紹介したいということから、このような機会を持つことを提案致しましたところ、西脇知事には、大変ご多忙の中、ご快諾いただきましてありがとうございます。

まず、知事になられてからの1年間は、どのようなことに重点を置いて取り組まれましたか。

### 西脇知事：

色々ありますが、その中でも特に3点挙げたいと思います。

最も重点を置いたのが、「子育て環境日本一」です。少子高齢化や人口減少ということもありますが、子育てにやさしい環境は全ての人に優しい環境でありますし、地域で子育てを支えることは地域のつながりができることにもなります。ただ、子育て環境に関する施策は、出会い、結婚から、妊娠、出産、

保育、教育、場合によっては就労環境も含め、トータルに進める必要があります。そこで、知事に就任してすぐに、私を本部長とする「子育て環境日本一推進本部」を立ち上げ、この夏には総合戦略を策定しようと検討を進めています。

2点目が「観光戦略」です。知事就任後、推進本部を2つ立ち上げましたが、もう一つが「観光戦略総合推進本部」です。京都市内の一部に集中している観光客にいかに府の北部や南部の地域に周遊してもらうかが課題で、これまではなかった観光に関する京都府としての総合的な戦略を検討して、今、最終案を詰めているところです。

最後が、「先進的な防災・減災対策」です。まず、災害が起こりそうになった時点で、関係部局の指揮官クラスが直ちに府庁に集まる「緊急参集チーム」を創設しました。さらに、応急対策業務のマニュアル化や緊急時のホットラインも整備しました。去年は、地震や豪雨、台風など度重なる自然災害に見舞われたため、現在、その際の教訓を検証しており、今年の出水期までには、地域防災計画等の見直しにつなげたいと考えています。

### 白浜支部長：

西脇知事も言われるとおり、去年は、災害が相次いだ中、京都府が迅速な対応をされたことで、被害も甚大なものにはなりませんでしたが、ただ、我々弁護士のところには、隣家の瓦が飛んできたとか、借家が壊れたなどの法律上の問題の相談が増えましたので、弁護士会としては、災害相談への対応の強化に取り組んでいます。京都府としては、この災害の相談体制については、どのような考えを持っておられますか。

### 西脇知事：

一番重要なのは府民の生命・身体の安全ですが、復旧・復興に当たっては、生活上の被害をどうするかということも重要になります。瓦が飛んできた、木が倒れてきたといった被害や、家や車の二重ローンの問題もありますし、事業を営む方にも様々な問題が生じます。そのため、相談体制の充実は非常に重要だと思っていまして、現在、法律相談業務に関する協定の締結に向け、京都弁護士会と調整しているところです。

### 白浜支部長：

京都府では北部で弁護士ゼロ地域が長らく続くなどした時代もありましたが、京都府の支援を受けた法律相談センターの設置から始まり、現在では、ゼロ地域は解消し、北部だけでなく南部地域にも弁護士が増えています。弁護士会としても、京都市外における法的なサービスの充実に努力しているところですが、京都府としてはどのような方針で臨まれますか。

### 西脇知事：

どこの地域であっても法律トラブルは発生します。後見や空家、事業の承継も含めた相続の問題などをよくお聞きします。弁護士が少ない地域における法的サービスの充実が重要であり、これまでから、京都弁護士会への委託による無料法律相談の実施や地元の市町とともに丹後法律相談センターへの財政支援を行っており、今後も継続することとしています。京都弁護士会の取組にも期待しており、これからも協力して取り組んでいきたいと思っています。また、実情を十分に承知しているわけではありませんが、地元に着定された弁護士さんには、行政や地域の様々な団体との連携に努めていただければと思っています。

### 白浜支部長：

京都府の性暴力被害者ワンストップ相談支援センター（SARA）や消費者あんしんチームなどの取組は、全国に先駆けたもので、京都弁護士会にも他会から問合せがあるほどですが、今後は、どのように取り組まれますか。

### 西脇知事：

SARAについては、京都弁護士会をはじめ関係する機関、団体と2年にわたる協議を重ねた結果、充実した体制が構築されました。その結果、相談件数も増加し、知名度も上がっているようであり、今後も関係機関と十分な連携を図っていききたいと思っています。

消費者問題については、あんしんチームを中心に様々な取組を進めていますが、複雑・困難化する案件に十分に対応できるよう、府、市町村の消費者相談の質を上げていかなければならないと思っており、今後も京都弁護士会と連携しながら取り組んでいきたいと思っています。



### 白浜支部長：

京都弁護士会では、昨年は、民事介入暴力京都大会の開催があったため、特殊詐欺対策に取り組みましたが、京都府としては、高齢者の被害防止について、どうお考えでしょうか。



## 西脇知事：

刑法犯認知件数や交通事故件数は減少していますが、特殊詐欺、特に高齢者に対するものは、なかなか減少しません。しかも、先ほどの消費者問題よりも悪意に満ちており、新しい手法も次々と出てきますので、情報提供や啓発が重要と考えています。そのため、一般向けの啓発活動のほか、高齢者と接する機会の多い介護・福祉関係の人に特殊詐欺に関する知識を持ってもらうための研修会を実施してきました。来年度も同様の啓発活動や研修を実施するとともに、市町村が地域に密着して実施する啓発活動への支援を行うこととしています。

## 白浜支部長：

今後の府政について抱負をお聞かせください。

## 西脇知事：

私が知事に就任した昨年は、明治改元・府庁開庁150年目の節目になります。京都は、明治維新の動乱で市街地がかなり消失しましたし、東京<sup>てんと</sup>奠都で人口も3分の2くらいになりました。これに対し、当時の人は、日本で初めての小学校を作り、京都大学の前身であり、大阪にあった第三高等中学校の誘致や日本で初めての博覧会の開催、琵琶湖疏水の建設など、人づくりと産業振興に努められました。

今、私たちは、人口減少や少子高齢化、頻発する災害など様々な課題に直面していますが、それらに立ち向かおうということで、来年度予算のキャッチフレーズを「新しい京都の未来への挑戦予算」としました。子育て環境の整備や、四条室町に完成する京都経済センターを核とした新しい産業振興、文化庁の京都への移転、亀岡に完成する京都スタジアムなどを見据えた文化・スポーツを活かし

た京都の魅力アップなどに取り組みたいと思っています。また、この秋には、現行の「課題解決型」ではなく「夢・実現型」・「未来志向型」の新しい総合計画を策定します。20年後の目指す姿などを示した上で、当面はこういう施策を進めますといった計画の検討を進めており、そこで未来の姿をお見せできればと思っています。

## 【インタビュー後記】

西脇知事は、2月17日に開催された京都マラソンを4時間8分で完走されたところでしたが、お疲れの様子もなく、終始にこやかに熱意をもって京都府の政策についてお話をいただきました。



## 京都選出の国会議員、府会議員、京都市会議員の各政党議員団 との意見交換会

2004年（平成16年）3月に弁政連京都支部が設立されて以来の重要な活動として、国会議員、府会議員、京都市会議員の議員の皆様と京都弁護士会との意見交換会を開催してまいりました。これは、弁護士会の活動や課題を議員の方々に知っていただくとともに、議員の方々からのご意見を弁護士会の活動の参考にさせていただくということを目指して実施してきたものです。本年度からは、互いに気兼ねのない意見を述べやすいものにしようということで、各政党毎に開催するという形式に改めるということで各政党にもご理解をいただき、政党別に意見交換会を開催しました。

2018年（平成30年）9月22日に自由民主党京都府支部連合会、10月27日に公明党京都府本部、12月15日には午前と午後に分けて、国民民主党京都府総支部連合会と立憲民主党京都府支部及び2019年（平成31年）1月19日に日本共産党京都府委員会と合計5回の意見交換会を開催し、それぞれ、後述する議員の皆様にご出席いただきました。弁護士会からは、浅野会長を初めとして、副会長、担当委員会の説明員に出席してもらいました。いずれも、弁護士会からの一方的な情報提供とならないよう、各政党毎に話しやすいテーマに絞り、議員の方々からのご意見を伺うことを意識しての意見交換といたしました。

自由民主党とは、本年度京都市で開催された第87回民事介入暴力対策京都大会協議会を受けた特殊詐欺問題と空き家問題、公明党とは、地方消費者行政への財政支援問題と京都府南部への裁判所支部の設置問題、国民

民主党、立憲民主党及び日本共産党とは、少年法適用年齢引き下げ問題と憲法改正問題を中心とした意見交換を行いました。これらのメインテーマ以外の問題についても、京都弁護士会からの報告をさせていただきました。具体的には、京都性暴力被害者ワンストップ相談、京都府策定のヘイトスピーチガイドライン、民事裁判手続のIT化問題（以上は自由民主党）、災害対策への取組、国民投票法の法的な問題点（以上は公明党）、死刑制度の廃止（国民民主党、立憲民主党と日本共産党）、住宅セーフティーネット（国民民主党、立憲民主党）、生活困窮者への支援問題（日本共産党）です。

初めての試みでしたが政党別に実施した感想としては、その趣旨とおおり、気兼ねのない意見交換となり、議論が深まったというのが、弁護士会側の出席者からのほぼ一致するところとなりました。テーマを政党別に絞ったことも活発な議論を引き出し、弁護士の業務領域の広がりや多様性にご理解をいただくことにつながったように思います。議員の方々からも率直なご意見をいただき、有益な意見交換会となりました。



## 【意見交換会出席者】

### 自由民主党：

二之湯智衆議院議員、安藤裕衆議院議員、木村弥生衆議院議員、田中英之衆議院議員、菅谷寛志府議会議員、渡辺邦子府議会議員、中川貴由府議会議員、尾形賢府議会議員、藤山裕紀子府議会議員



### 国民民主党：

泉健太衆議院議員、北岡千はる府議会議員、隠塚功市議会議員、山岸隆行市議会議員、鈴木正穂市議会議員



### 立憲民主党：

福山哲郎参議院議員、田中健志府議会議員



### 公明党：

竹内譲衆議院議員、大道義知市議会議員、村井弘府議会議員、諸岡美津府議会議員、青野仁志市議会議員、国本友利市議会議員



### 日本共産党：

穀田恵二衆議院議員、井上哲士参議院議員、倉林明子参議院議員、前窪義由紀府議会議員、島田敬子府議会議員、光永敦彦府議会議員、山中渡市議会議員、加藤あい市議会議員、西村善美市議会議員



**弁護士会：**

浅野則明会長、古家野彰平副会長、秋重実副会長、谷山智光副会長、浅井亮副会長

**弁護士会説明員：**

伏見康司会員、南部孝男会員、西村幸三会員、加藤進一郎会員、増田朋記会員、長谷川彰会員、大脇美保会員、安西敦会員、堀和幸会員、舟木浩会員、戸田洋平会員、諸富健会員

**弁政連：**

白浜徹朗支部長、浜垣真也副支部長、日下部和弘事務局長、山地敏之事務局次長、浅岡美恵理事、小川達雄理事、木内哲郎理事、吉川哲朗理事、後藤真孝理事、吉田誠司理事

(文責 副支部長 浜垣真也)

**2018年度(平成30年度) 事業報告**

日本弁護士政治連盟 京都支部

1	2018年4月9日(月)	定期総会を開催
2	"	第1回理事会を開催
3	"	4/8(日)投票の京都府知事選挙、南丹市長選挙、与謝野町長選挙の当選者に祝電を打電
4	2018年4月25日(水)	京都弁護士会 2018年度役員等披露宴に1名出席
5	"	京都支部ニュース第5号を発行、京都弁護士会役員等披露宴で配付、会員等に配付
6	2018年5月22日(火)	理事会を開催
7	2018年6月14日(木)	理事会を開催
8	2018年6月19日(火)	6/17(日)投票の宮津市長選挙の当選者に祝電を打電
9	2018年7月12日(木)	理事会を開催
10	2018年8月9日(木)	理事会を開催
11	2018年9月13日(木)	理事会を開催
12	2018年9月22日(土)	「自由民主党京都府支部連合会と京都弁護士会との意見交換」を開催
13	2018年10月10日(水)	理事会を開催
14	2018年10月22日(月)	10/21(日)投票の大山崎町長選挙の当選者に祝電を打電
15	2018年10月27日(土)	「公明党京都府本部と京都弁護士会との意見交換会」を開催
16	2018年11月7日(水)	理事会を開催
17	2018年11月21日(水)	11/18(日)投票の伊根町長選挙の当選者に祝電を打電
18	2018年11月18日(日)	「立憲民主党京都府連合 設立大会」に1名出席
19	2018年11月18日(日)	「国民民主党京都府連パーティ 2018」に1名出席
20	2018年12月1日(土)	自民党京都府連主催の「政経文化懇談会」に2名出席
21	2018年12月13日(木)	理事会を開催
22	2018年12月15日(土)	「国民民主党京都府総支部連合会議員団と京都弁護士会との意見交換会」を開催
23	"	「立憲民主党京都府連議員団と京都弁護士会との意見交換会」を開催
24	2019年1月9日(水)	公明党京都府本部主催の「2019年公明党新春年賀会」に1名出席
25	2019年1月14日(月)	1/13(日)投票の長岡京市長選挙の当選者に祝電を打電
26	2019年1月17日(木)	理事会を開催
27	2019年1月19日(土)	「日本共産党京都府委員会議員団と京都弁護士会との意見交換会」を開催
28	2019年2月4日(月)	2/3(日)投票の舞鶴市長選挙の当選者に祝電を打電
29	2019年2月11日(月)	「国民民主党京都府連 第2回定期大会」に1名出席
30	2019年2月14日(木)	理事会を開催
31	2019年3月3日(日)	自由民主党京都府支部連合会主催の「統一地方選挙『総決起大会』」に3名出席
32	2019年3月14日(木)	理事会を開催
33	2019年3月22日(金)	2019年4月の統一地方選挙の複数議員選挙区において、公職選挙法第86条第1項の要件を充たす政党が公認された候補者の方々と、京都弁護士会の活動をご理解いただける方々へ「推薦状」を発行
	<b>会員数の状況</b>	今年度当初109名のところ、年度末は119名だった。



2019年度(平成31年度) 役員名簿

任期 : 2019年4月1日～2020年3月31日

		氏名
	支部長	白 浜 徹 朗
	副支部長	浜 垣 真 也
	事務局長	日下部 和弘
	事務局次長	山 地 敏 之
1	理事	浅 岡 美 恵
2	"	浅 野 則 明
3	"	小 川 達 雄
4	"	木 内 哲 郎
5	"	吉 川 哲 朗
6	"	古家野 彰平
7	"	後 藤 真 孝
8	"	橋 英 樹
9	"	谷 口 直 大
10	"	吉 田 誠 司
	監事	豊 田 幸 宏
	"	船 橋 恵 子

	顧問	谷 口 忠 武
	"	田 中 彰 寿

## 編集後記

事務局長 日下部 和 弘

皆様に弁政連京都支部の活動や提言等をお知らせする京都支部独自の「ニュース」も、今回で6号となります。全体の約半分を使って昨年から京都府知事に就任された西脇隆俊氏のインタビューを載せています。弁護士会への委託事業、性暴力や高齢者等の被害対策など、弁護士会の活動に対する強い期待を寄せていただきました。

後半は、各政党議員団との意見交換会のまとめとなっています。昨年度は初めての試みとして、それまで国会議員、府議会議員等の所属する議会別に行っていたものから、議員団として、力を入れておられるであろう分野を選んで、政党別の意見交換の議題とさせていただきます。

弁護士会の役員や各委員会の説明員の皆様及び事務局には、準備を含め、ご負担をおかけしたと思いますが、おかげ様で例年以上に充実した議論ができたものと思います。

引き続き、弁政連の活動にご協力いただきますようお願いいたします。